

第6回超高精度メソスケール気象予測研究会プログラム

3月7日(月) 09:00-09:20	研究説明 今脇資郎(海洋研究開発機構) 齊藤和雄(気象研究所/海洋研究開発機構)
09:20-10:40	領域雲解像4次元同化システムの開発 (座長 気象大学校/気象研究所 露木義)
11:00-12:40	領域雲解像アンサンブル解析予報システムの開発 (座長 気象研究所/海洋研究開発機構 瀬古弘)
13:40-13:50	挨拶 寶 馨(京都大学防災研究所所長)
13:50-14:30	基調講演 George Bryan博士 (米国大気研究センター)
14:30-17:00	高精度領域大気モデルの開発とそれを用いた基礎研究 (座長 海洋研究開発機構 中村晃三)
17:00-17:30	総合討論

開催場所

京都大学宇治キャンパス防災研究所連携研究棟

住所: 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

問合せ TEL: 0774-38-3348

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/map.html>

懇親会について

3月7日17時50分から、京大生協宇治食堂にて懇親会を行います。

参加申し込み

研究会への参加を希望する方は、懇親会の希望とともに2月25日までに下記までご連絡ください。

気象研究所予報研究部 齊藤和雄

TEL: 029-853-8630

FAX: 029-853-8649

E-mail: ksaito@mri-jma.go.jp



表紙の図説 本課題の成果&京によるシミュレーション。奥から順に、
 (背景) 100m格子のLESで再現した熱帯域の対流の湿潤静的エネルギー(JAMSTEC、野田暁)
 (1) 100m格子のLESでシミュレートした台風の雲分布(気象研/東大大気海洋研、伊藤純至)
 (2) JMANHMで再現した台風ナルギスの雲分布(JAMSTEC/気象研、Le Duc)
 (3) 土砂災害予測モデル(Hydro Debris3D)で再現した土砂崩れ(京大、山敷庸亮)
 (4) 10m格子でシミュレーションした竜巻の多重渦構造(気象研、益子涉)